

[資料編] 2 沿革

年	月	事項
大正 8 (1919)	12	▶ 開港60年・自治制施行30年記念事業として図書館の建設を計画
10 (1921)	6	▶ 横浜公園内の建設事務所内仮閲覧所で図書の閲覧開始 (横浜市図書館の開業)
12 (1923)	9	▶ 関東大震災により建物と蔵書を焼失
	12	▶ 中村町のバラックに閲覧所を設置し、閲覧開始
13 (1924)	3	▶ 横浜公園内に仮本館が竣工し、落成記念に震災展覧会を開催
	4	▶ 閲覧業務を実施
	9	▶ 館外貸出を実施
昭和 2 (1927)	7	▶ 旧老松小学校跡に横浜市図書館竣工
5 (1930)	1	▶ 『横浜市図書館報』創刊
9 (1934)	11	▶ 『巡回文庫開設 (隣保館に図書の一括貸出)
12 (1937)	7	▶ 横浜市図書館を後援し各種文化事業を行う「横浜読書協会」を設立
19 (1944)	10	▶ 一般閲覧室を市会議場として使用
20 (1945)	3	▶ 横浜連隊区司令部の接収により戸部小学校に移転。図書館の建物は、終戦後米軍に続いて市復興局が使用
	9	▶ 戸部小学校から教育会館に移転
22 (1947)	8	▶ 移転先より野毛に復帰
	9	▶ 開架式で閲覧業務を再開
25 (1950)	4	▶ 館外個人貸出開始 図書館法公布で閲覧無料となる。
29 (1954)	10	▶ 団体貸出事業開始
32 (1957)	3	▶ 『郷土よこはま』創刊
34 (1959)	5	▶ 「サンディエゴ=横浜友情文庫」を特設
	7	▶ 貸出文庫用自動車購入。翌年1月から本格的に配本開始
35 (1960)	5	▶ 日吉閲覧所開設 (44年9月団体貸出に移行)
38 (1963)	1	▶ 新館増改築工事竣工
44 (1969)	8	▶ 団体貸出用広報『ひろば』創刊
45 (1970)	4	▶ 横浜市図書館報『こだま』創刊
	8	▶ 移動図書館「はまかぜ1号・2号」による巡回貸出開始
47 (1972)	10	▶ 『横浜市図書館行政の施策と展望 (意見具申)』 (横浜市社会教育委員会議) が出される。
48 (1973)	11	▶ 「横浜市総合計画1985」策定。方面別図書館建設の方針が出される。
49 (1974)	10	▶ 磯子図書館開館。市立図書館2館となる。
52 (1977)	4	▶ 山内図書館開館。市立図書館3館となる。
53 (1978)	11	▶ 戸塚図書館開館。市立図書館4館となる。 初めてコンピュータ方式を採用
54 (1979)	5	▶ 戸塚図書館で視覚障害者サービス開始
55 (1980)	1	▶ 鶴見図書館開館。市立図書館5館となる。
	5	▶ 金沢図書館開館。市立図書館6館となる。
	6	▶ 磯子図書館、山内図書館をコンピュータ方式に転換
	7	▶ 『こだま』『ひろば』を統合し、図書館報『よこはま』創刊
	8	▶ 港北図書館開館。市立図書館7館となる。
56 (1981)	4	▶ 図書館間の連絡車が稼動
	12	▶ 「よこはま21世紀プラン」策定。1区1館建設及び中央図書館建設方針を確立
57 (1982)	5	▶ 保土ヶ谷図書館開館。市立図書館8館となる。
	9	▶ 戸塚図書館で台風により地下書庫の冠水被害
60 (1985)	1	▶ 瀬谷図書館開館。市立図書館9館となる。
61 (1986)	5	▶ 旭図書館開館。市立図書館10館となる。

年	月	事項
昭和62 (1987)	1	▶ 港南図書館開館。市立図書館11館となる。
	4	▶ 地域図書館の火～木曜日の開館時間を午後7時まで延長 (金曜日は以前から7時)
	5	▶ 『横浜市中央図書館基本構想委員会報告書』が提出される。
	10	▶ 神奈川図書館開館。市立図書館12館となる。
	11	▶ 各図書館報を統合して横浜市立図書館報『横浜』創刊。「文化の日」開館開始
63 (1988)	1	▶ 山内図書館改修工事竣工、団体貸出開始
平成元 (1989)	2	▶ 泉図書館開館。市立図書館13館となる。
	3	▶ 栄図書館開館。市立図書館14館となる。 『横浜市中央図書館資料収集検討委員会報告書』が提出される。
	5	▶ 中図書館開館。市立図書館15館となる。 「こどもの日」開館開始
	11	▶ 「よこはま21世紀プラン」第3次実施計画策定により、中央図書館・分館を含めた図書サービスネットワーク確立の方針を打ち出す。
2 (1990)	1	▶ 中央図書館建設のため横浜市図書館休館
	3	▶ 横浜市図書館仮設館開館
	9	▶ 横浜市図書館を解体、中央図書館着工
3 (1991)	4	▶ 神奈川県図書館情報ネットワークシステム (KL-NET) に加入
4 (1992)	12	▶ 南図書館開館。市立図書館16館となる。
5 (1993)	10	▶ 横浜市図書館仮設館の個人貸出・閲覧業務を停止
6 (1994)	1	▶ 各図書館で「横浜市立図書館情報システム」による窓口業務開始
	2	▶ 中央図書館一部開館
	4	▶ 中央図書館全面開館。図書館情報システム全面稼動
	12	▶ 「ゆめはま2010プラン」基本計画策定 1区1館達成後、図書館8館の新設と地区センター等とのネットワーク整備を計画
7 (1995)	4	▶ 都筑図書館開館。市立図書館17館となる。
	5	▶ 緑図書館開館。市立図書館18館となる。 1区1館の達成
8 (1996)	1	▶ 中央図書館で来館困難な障害者に対する配送貸出サービス開始
10 (1998)	3	▶ 図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索サービス開始
11 (1999)	5	▶ 「市内情報拠点化事業」開始
	11	▶ 磯子図書館、磯子区総合庁舎に移転開館 「予約図書情報ダイヤル」サービス開始
12 (2000)	4	▶ 市立図書館全館で祝休日等年間30日の開館日拡大。中央図書館の火～金曜日の開館時間を午後8時30分までに延長
13 (2001)	12	▶ 市立図書館全館で月曜日開館開始
14 (2002)	12	▶ 「横浜市中期政策プラン」策定。地区センターとの連携、図書館情報システムの改善を計画
15 (2003)	1	▶ 図書館情報システムを更新
16 (2004)	5	▶ Eメールレファレンスサービス開始
17 (2005)	1	▶ 登録更新手続を開始
	4	▶ ホームページに「Yokohama's Memory 都市横浜の記憶」を公開 地区センター等蔵書情報を公開
	10	▶ インターネットでの予約・貸出延長サービス開始

年	月	事 項
平成17(2005)	12	▶「地区センター等ネットワーク試行調査事業」開始（二俣川駅・東戸塚駅行政サービスコーナー及び青葉区内地区センター1施設での貸出・返却、東急田園都市線3駅への返却ポスト設置）
18(2006)	2	▶中央図書館でインターネット閲覧サービス開始
	3	▶はまかぜ2号の運行停止
	10	▶「横浜市立図書館のあり方懇談会」開設
	12	▶「横浜市中期計画(横浜リバイバルプランII)」策定。「市立図書館のあり方検討」を計画
19(2007)	1	▶地域図書館5館（旭・金沢・緑・都筑・栄）でインターネット閲覧サービス開始
	2	▶全館に「初めて出会う絵本コーナー」開設
	8	▶『横浜市立図書館のあり方懇談会報告書』の提出を受ける。
	10	▶全館で「ティーンズ・サービス」開始 「地区センター等ネットワーク試行調査事業」拡充（青葉区内地区センター等5施設での貸出・返却開始）
20(2008)	1	▶横浜市立図書館情報紙『@Lib』創刊
21(2009)	3	▶全地域図書館にインターネット閲覧サービス拡大
	4	▶横浜開港150周年事業を開催（～12月）
	10	▶開港150周年にあたって小学生から募集した『ヨコハマの子どもが選んだ150冊』を発表
22(2010)	2	▶文部科学省による図書館プロジェクト「図書館海援隊」に参加
	4	▶山内図書館で指定管理者による運営を開始、あわせて火～金曜日の開館時間を午後8時30分まで延長 中央図書館司書補助業務委託及び書誌作成業務委託導入 青葉区内コミュニティハウス1施設での貸出・返却開始
	7	▶国民読書年事業として「ヨコハマ、本の虫宣言～2010年は国民読書年」を開催
	9	▶「横浜市立図書館司書人材育成計画」を策定
	12	▶山内図書館で有料宅配サービスの試行開始
23(2011)	1	▶「横浜市立図書館アクションプラン」を策定 「横浜市教育振興基本計画」策定
	3	▶「蔵書再構成5か年計画」及び「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」を策定
	4	▶都筑図書館、戸塚図書館司書補助業務委託導入 横浜市立図書館メールマガジンの配信を開始
	6	▶横浜市立図書館創立90周年。記念事業開催
	7	▶節電のため9月まで、中央図書館を除く地域図書館で、週1日輪番による休館を実施
25(2013)	1	▶図書館情報システムを更新
	6	▶「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」公布
	10	▶市立学校への学校司書の配置開始
26(2014)	3	▶「横浜市民読書活動推進計画」策定
	4	▶「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」施行 各区に読書活動推進担当課長を設置（地域図書館長が兼務。西区はサービス課長、青葉区は企画運営課長が兼務）
26(2014)	10	▶ボランティア向けメールマガジン配信開始
	11	▶横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」（第1回）開催 「第2期 横浜市教育振興基本計画」策定

年	月	事 項
平成27(2015)	2	▶「横浜市立図書館蔵書5か年計画」及び「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」を策定
	3	▶「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」を策定
28(2016)	1	▶港南台地区センターでの図書取次サービス開始
	3	▶「司書人材育成計画」を見直し、「司書職人材育成計画」を策定
29(2017)	3	▶鎌倉市、川崎市、藤沢市、大和市と広域相互利用サービスを開始
	11	▶ツイッター(Twitter)による情報発信を開始
30(2018)	4	▶横須賀市と広域相互利用サービスを開始 ふるさと納税（横浜サポーターズ寄附金）受付開始
	12	▶「第3期 横浜市教育振興基本計画」策定
令和元(2019)	12	▶「第二次 横浜市民読書活動推進計画」策定
2(2020)	3	▶図書館の一部サービスを停止 「横浜市立図書館運営実行プラン」を策定
	4	▶新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、全館臨時休館
	11	▶町田市と広域相互利用サービス開始
3(2021)	2	▶全館に本の除菌機を設置
	3	▶電子書籍サービス、オンライン対面朗読サービス開始 NDC（日本十進分類法）第10版の使用開始
	4	▶逗子市と広域相互利用サービス開始 横浜市立図書館のロゴマークを制定
	6	▶横浜市立図書館開業100周年を迎える。記念式典及び講演会を開催
4(2022)	1	▶日吉図書取次所（愛称：日吉の本だな）開設
	3	▶中央図書館地下1階フロアをリニューアル
	4	▶横浜市立図書館規則の一部改正（施行） 貸出冊数が6冊から10冊に拡大 移動図書館「はまかぜ2号」運行開始
	12	▶「横浜市中期計画2022～2025」策定。新たな図書館像の構築と市民の豊かな学びの環境の充実が打ち出される。
5(2023)	1	▶港北図書館司書補助業務委託導入
	3	▶「第4期 横浜市教育振興基本計画」策定
	6	▶インスタグラム(Instagram)による情報発信を開始
6(2024)	1	▶図書館情報システムを更新 蔵書探索 AI 稼働 横浜市 LINE 公式アカウントとの連携開始
	3	▶「横浜市図書館ビジョン」策定
	4	▶「司書職人材育成ビジョン」を策定
	9	▶中央図書館改修工事（のげやま子ども図書館 およこフロア）着工
7(2025)	3	▶「第三次 横浜市民読書活動推進計画」策定 都筑南図書取次所（愛称：つづきの本ばこ）開設
	4	▶のげやま子ども図書館 およこフロア 開館
	9	▶横浜市立図書館のサービス及び利用状況等に関するアンケート調査を実施
8(2026)	3	▶中央図書館改修工事（のげやま子ども図書館 こどもフロア）に伴い、中央図書館地下1階での仮設運営を開始 「第5期横浜市教育振興基本計画」策定